

# UN-HABITAT PRESS

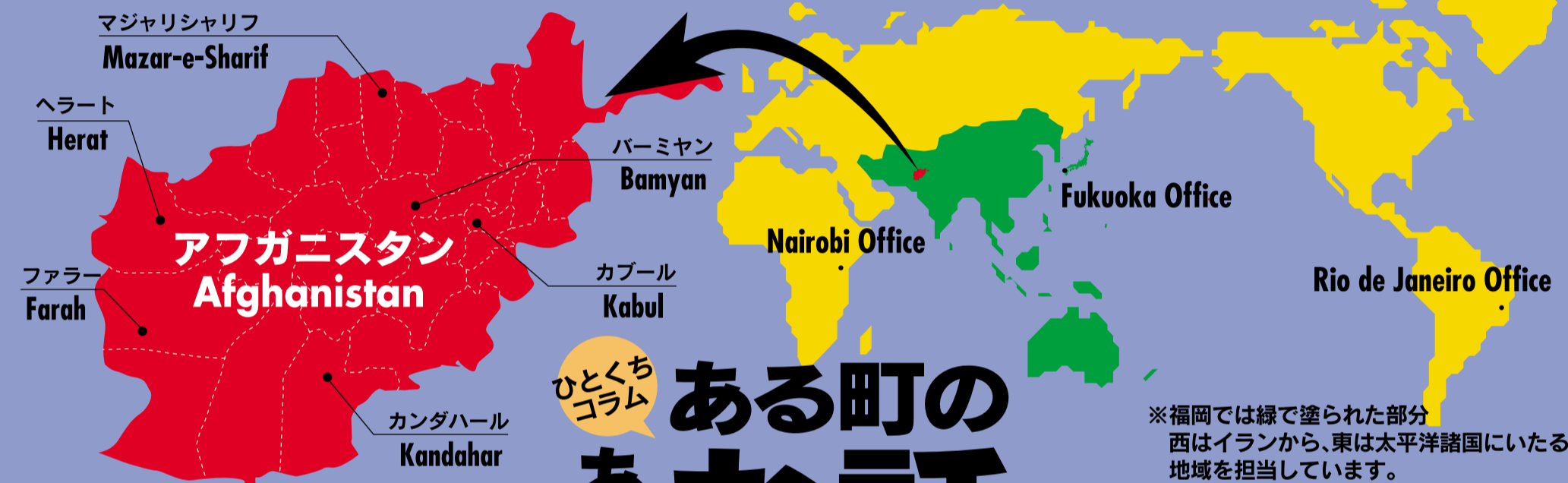
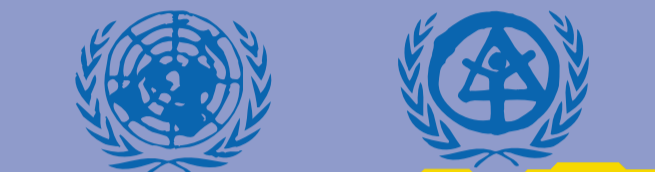
## 特集 アフガニスタン 国連ハビタットプレス Vol.1

### ハビタットって何?

世界の人々の幸せを「まちづくり」という視点から考え、その改善の為に行動しているのが国連ハビタットという国連機関です。



### UN-HABITAT United Nations Human Settlements Programme



### ある町のあるお話

#### バスタプロジェクト

カンダハールに仕事のあてもなく物ごいでいた10人の女性がいました。この女性たちは、コミュニティ・フォーラムを通じて、ハビタットが新しく立ち上げたバスタプロジェクトのプロジェクトのことを聞きつけ、リーダー・ミーティングに参加しました。

彼女たちは、ミーティングで、自分たちがおかれている現状を訴え、なんとかバスタ工場で働かせてほしいとお願いしました。物ごいでではなく、工場働いて、誇りをもって食べ物を買え、家族の元へ帰って帰りたいのです。彼女たちは、仕事で得られるかどうか分からなかったために、とうとう泣き出してしまいました。

すると、すでに工場に働くことが決まっていた人たちが、この10人の女性に仕事を譲ったのです。女性たちは、大変喜び、生き生きと誇りを持って働き始めました。稼ぐ食べ物量は少なくても、仕事やおしゃべりを通じて自分の想いを共有することで、精神的にもとても救われたのです。そして、次第に他の人たちよりも仕事が上手こなせるようになっていきました。

このように女性たちが誇りを持って働くことが出来るプロジェクトを立ち上げることは、女性たちの経済状態を改善するだけでなく、彼女たちを精神面からも支えてあげることも出来るのです。

#### 2つのコミュニティ

カブールにある2つのコミュニティは、紛争でひどくダメージを受けた道路の石ころやがらくたを片づけたいと思っていました。Bのコミュニティは、ロケット弾や洪水の被害で大きな穴の空いた道路を砂利や石を使って直したいと思っていました。

どちらのプロジェクトも、石の輸送のために莫大なお金がかかります。そんなとき、地元の実業家は、Bのコミュニティに必要な石は、Aのコミュニティが取り除いた石でまかなえることに気が立ちました。国連開発計画と国連ハビタットは、2つのコミュニティが正式契約を結び、Aにある石をBに提供するようになれば、もっと効果的に資金を活用でき、両方のコミュニティのプロジェクトを拡大することができると提案しました。

こうして2つのコミュニティは、互いのニーズを満たすため、宗教や民族の違いを乗り越えて協力することを覚悟したのでした。

#### 一家の担い手

アフガニスタン南部地域において、国連ハビタットは、国連開発計画とともに、ある救援プロジェクトを立ち上げようとしていました。コミュニティは会合を開き、対象となる労働者リストを作って、プロジェクト・オフィスに提出しました。リストに何の問題もないように思われました。

ところが、プロジェクトの責任者が、現地へ視察に行ったとき、1/4の労働者が13-15歳の子供であることに気づいたのです。この問題は深刻に受け止められ、諮問委員会において、児童労働に関する懸念が強く表明されました。委員の何人かは、すでに、この問題に気づいていました。しかし、彼らは、その子どもたちが家族の中で唯一の働き手であること、もし雇わなかったら、子どもたちが盗みに走ったり、物乞いをしたり、兵士になってしまう可能性があることを考慮していたのです。

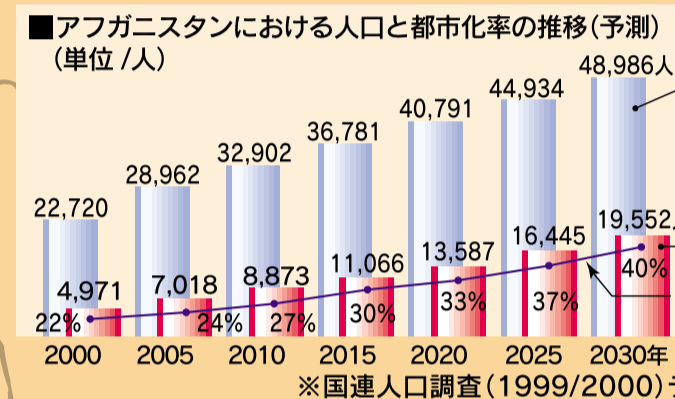
何度も商議を重ねた結果、子どもたちはそのまま仕事につくことになりました。ただし、同時に、コミュニティ・フォーラムが組織する学校への就学が義務づけられたのです。子どもたちは、午前中プロジェクトで働き、午後は学校へ通うことになりました。また、コミュニティ・フォーラムは、子どもたちが、将来、持続的な方法で家族を養っていくよう、職業訓練コースを設定したのでした。

### アフガニスタンの都市人口は2000年の500万人から2030年には約4倍の1,900万人になります

#### アフガニスタンのいま

アフガニスタンでは20年以上も国の中での紛争が続き、あらゆる面で国としての機能を失ってしまいました。国の都市人口率(都市化率)が22%で、そのほとんどは基本的サービスへのアクセスもなく、劣悪な居住環境での生活を強いられています。

資産は破壊され、人材は激減。行政は住宅開発などの社会サービスの供給・管理といった基本的な業務も出来ない状態です。都市におけるサービスや計画の不備は、予測される都市人口の増加によって更に深刻さを増しています。国連の人口予測によると、アフガニスタンの都市人口は2000年の500万人から2030年には1,900万人と約4倍に膨れ上がり、アジア・太平洋地域で最も都市化の



### 現状

### RECONSTRUCTION

### 再建 住民たちと共に

#### アフガニスタンでの活動

国連ハビタットは、アフガニスタン内部で10年間にわたって活発にプロジェクトを展開してきました。途中いくつかは紛争で活動を中止しなければなりませんでした。まず1989年にカブールで建築資材支援プロジェクトにより活動を再開しました。現在の活動地域は、カブール、カンダハール、ヘラート、マザリシャリフの主要4都市と、パルミヤン、ファラーの地方中心都市にまで広がっています。1993年から2001年の間に国連ハビタットは約36億円の資金で51のプロジェクトを実施してきました。国連開発計画(UNDP)は、「PEACE」と呼ばれる全体的なプログラム枠のもと、プロジェクトの中核スタッフの件費と活動準備金などを提供し、アメリカ、オランダ、

オーストラリア、スイス、カナダ、スウェーデン政府等が様々な活動が実行できるように追加資金を拠出しています。

昨年9月、アフガニスタンにおける緊張が高まった時期、国連ハビタットを含む全ての国連機関は、生命維持に欠かせないものを除き、活動を一時停止しました。今年1月に入って、国連ハビタットのアフガニスタンにおける活動は、カブールにおいて全面的に、マザリシャリフとヘラートにおいて一部再開されました。アフガニスタン都市部のコミュニティ復興を目的に1995年に始まった「PEACE」プログラムは、現在第二段階に入っています。

コミュニティ・フォーラムを軸とした国連ハビタットの取り組みは、アフガニスタン暫定政権からも評価されています。アフガニスタン 援助調整の長官アシュラフ・ガニ氏は、国連ハビタットと世界銀行に国内コミュニティ開発戦略を策定してほしいと依頼しました。「コミュニティ・フォーラムはアフガニスタンの人々の為にこそ存在し、多くの援助国、国際NGOや国連機関などのドナーが、市民と共



ヘラートにおける国内避難民のための住宅建築。



現在のカブールの町並み。以前はアパートが建ち並んでいた。

進んだ都市となってしまいます。農作地の不足や避難先で都会の生活に慣れてしまった国内外避難民の移動を考えると、アフガニスタンにおける主要都市の人口増加率はもっと早まるでしょう。一刻も早い主要都市における住宅再建・インフラの整備が望まれます。



### UN-HABITAT PRESS 国連 Vol.1

#### 特集 アフガニスタンのまちづくりのために

#### Community Forum



マテマ上級人間居住アドバイザー(国連ハビタット福岡事務所)

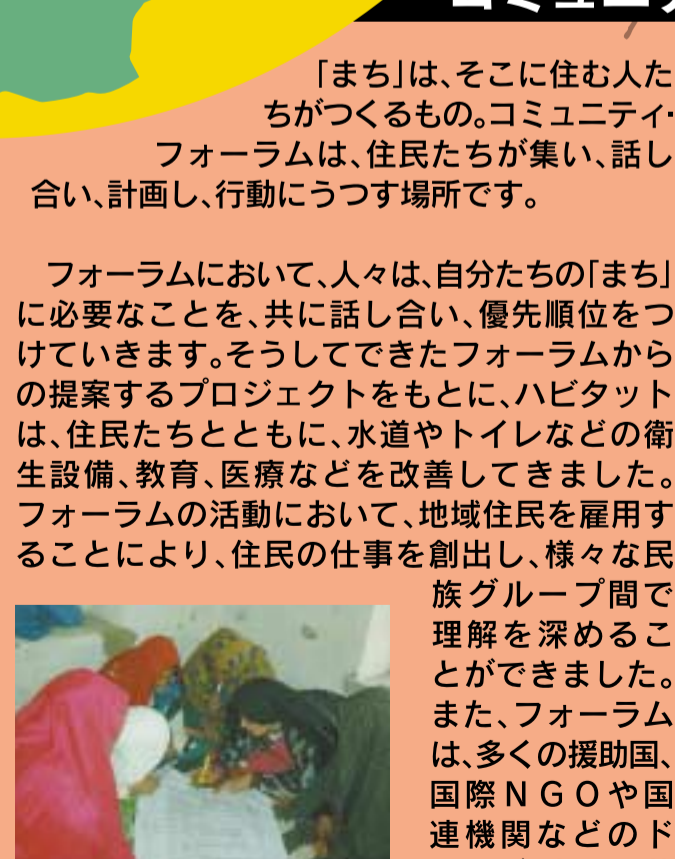
### PRESENT CONDITION



### UN-HABITAT PRESS 国連 Vol.1

#### 特集 アフガニスタンのまちづくりのために

#### Community Forum



女性のフォーラムによる簿記のトレーニング。

### 顔の見える支援へ | ジャパン・シェルタープロジェクト

#### 帰る「うち」があるアフガニスタンの「まちづくり」のために

2002年ハビタットカレンダー販売企画には、福岡県だけでなく、日本全国からたくさんのご支援をいただきました。2002年3月6日現在、4,085部を販売、製作費を差し引いた収益金とその他のお寄せいただいたご寄付とあわせて、約380万円が集まっています。これらのお金と、引き続きお寄せいただきますご寄付は、アフガニスタンにおける住宅再建プロジェクトに使用されることとなります。



現在、アフガニスタンのカブールにおいて、対象地域を決定するための現地調査を行っております。



国連ハビタット福岡事務所を取り巻く協力の輪。  
をより、川合 長雄(国連ハビタット福岡事務所協力委員会会長) 麻生 渡(福岡県知事) マリ・クリスティーン(国連ハビタット総務大使) 山崎 広太郎(福岡市長) デイ・ウィリアム(国連ハビタット福岡事務所前所長)

カブールにおける住宅再建プロジェクトへ貢献することによって、アフガニスタンの人々への友情を示していただいた日本の個人及び団体の皆様へ心からお礼を申し上げます。

アフガニスタンにおける都市の破壊は広範囲におよび、祖国の平和と発展を望む人々の苦しみを、約30年間続いています。この度のカレンダーの収益金及びご寄付だけでは、国全体のニーズを満たすことは出来ないかもしれません。しかし、私は、個人個人のレベルにおいて成し得る多くのことの大切さを強く信じています。皆様の経済援助、アフガニスタンのためにボランティアとして働きたいという意思、そして、アフガニスタンの人々の苦しみと発展への希望を共有したいという純粋な気持ちは、異なる文化や状況を越えて、お互いの理解を深めることと思えます。世界平和と人類の尊厳の保持に向けての、小さくても確実な一歩なのです。

最後に、国連ハビタット福岡事務所の立場から一言述べさせていただきます。私たちは、皆様のご貢献を無駄にせず、苦しんでいるアフガニスタンの家族を出発だけ助けるために、全力を尽くすことをお約束します。どうもありがとうございました。

### SUPPORT

### 住民が主役のコミュニティ・フォーラム

#### コミュニティ・フォーラム(協議会)とは

「まち」は、そこに住む人たちがつくるもの。コミュニティ・フォーラムは、住民たちが集い、話し合い、計画し、行動にうつす場所です。

フォーラムにおいて、人々は、自分たちの「まち」に必要なことを、共に話し合い、優先順位をつけていきます。そうしてできたフォーラムからの提案するプロジェクトをもとに、ハビタットは、住民たちとともに、水道やトイレなどの衛生設備、教育、医療などを改善してきました。フォーラムの活動において、地域住民を雇用することにより、住民の仕事を生み出し、様々な民族グループ間で理解を深めることができました。また、フォーラムは、多くの援助国、国際NGOや国連機関などのドナーが、市民と共



小学校低学年では男女共学のところもある。

「ものづくり」だけでなく「ひとづくり」を通した「まちづくり」。フォーラムでの活動を通じて培った「まちづくり」への自信は、人々に生きる活力を与え、平和への原動力になっています。

「干ばつの地に突然雨が降っても、干上がってしまった大地に雨水はただ吸い取られてしまうだけです。でも、雨に備えて土が耕されていたら、雨水を保って植物の発育を支えることができるのです。コミュニティ・フォーラムは、耕された大地に植えられた種のようなもの。資金が大量

に流れなくても、調整機関と支援団体が適切に導けば、資金は効果的に使われ、コミュニティ全体の公平な利益となることでしょう。」

■サマンサ・レイノルズ(国連ハビタットアフガニスタンプロジェクト事務所 チーフ・テクニカルアドバイザー)

次号 インフォメーション 今年の世界ハビタット・デーのテーマは、「City to City Cooperation 都市間協力(仮訳)」に決定。世界大会は、ベルギーのブラッセルで開催されますが、福岡でも、例年通り、色々な催し物を企画する予定です。お楽しみに。

www.fukuoka.unhabitat.org

国際連合ハビタット福岡事務所 TEL.092-724-7121 FAX.092-724-7124